

- (4) 試合中、十分適切にフロントローとして訓練を受けた選手がいなくなった場合には、安全対策の見地からノンコンテストスクラム（模擬スクラム）により試合を続行するが、勝敗は得点通りとする。
- (5) 選手の交替（医師または医務心得者からプレー続行不可と勧告のあった場合）は、7名まで。
- (6) 選手の入替えは、フロントローは2名まで、その他は5名まで。
- (7) 入替わった選手は、その試合に再出場することは出来ない。但し、以下の場合を除く。
- ① 出血した選手の一時的交替の場合。
  - ② フロントローとしてスクラムが組める選手が他になくなった場合。
- (8) 出血のための一時的交替は15分以内とし、それを越えた場合には正式交替として取り扱う。
- (9) コンタクトレンズ装用にかかる一時的交替は認めない。
- (10) 交替、入替えは、出血の手当てをする間の一時的交替は、必ずチームの「交替指示者」から大会本部に告げ、ボールがデッドになった時にレフリーの許可を得て入退出する。交替指示者以外の者が交替を申し出ても受け付けない。
- (11) レフリーの許可なく入退出した場合には、「競技規則」の不行跡として罰せられる。

### 3. シンピン、退場（競技規則第10条等参照）

- (1) シンピン（一時的退出）となったプレイヤーは、ハーフウェイライン付近の所定の場所に位置しなければならず、レフリーが許可するまで、フィールド・オブ・プレーに入ってはならない。その間、チームコーチ等と接触してはならない。
- (2) シンピンの時間は10分間とし、ハーフタイムの時間は含まれない。同一シーズンの公式試合において、累積3回目のシンピンが適用された選手は、そのまま退場となり、ゲームに再出場することは出来ない。また、次の1試合は自動的に出場停止となる。（各地域大会、国体その他の公式試合から累積適用されるので注意すること）
- (3) フロントローの一人が退場もしくはシンピンとなった場合、当該チームの指名された全ての選手の中にフロントローがいなくなれば、レフリーはノンコンテストスクラムを命ずる。この場合、交替するフロントローが訓練され適切であるかどうかを判断し、またいるかどうかを決定するのはレフリーの責任においてではなく、チームの責任においてである。
- (4) 入替えて退出した選手であっても、フロントローとしてそのポジションのスクラムが組める選手が他になくなった場合には、一時的交替でゲームに再出場することが出来る。
- (5) シンピンで一時的退出していた選手が戻ってきた時点で、一時的交替のフロントロー選手とその交替した選手は、元へ戻る。（この一時的交替は、入替えに数えない）
- (6) 累積シンピン退場以外の事由（不行跡等）で退場となった選手は、「退場を命じられたプレイヤーの措置」に基づいて、大会規律委員会で処分を決する。

### 4. 90分前受付

- (1) 試合当日チーム競技委員は、遅くともキックオフ90分前までに大会本部で「チーム受付」を済ませ、「スタッフ/メンバー表」を提出する。
- (2) 大会本部より当日の必要な伝達を行うので、代理の者ではなく、必ずチーム競技委員本人が出向くこと。
- (3) 「メンバー/スタッフ表」はその場で記載するのではなく、完成されたものを提出すること。

### 5. 80分前「プレマッチ・ミーティング」

- (1) キックオフ80分前に「プレマッチ・ミーティング」を行う。この時点で到着していない選手（リザーブ含む）、スタッフは大会へ出場できない。
- (2) 80分前の時点で、チーム競技委員は、「メンバー/スタッフ表」に記載された選手とスタッフを全員所定の場所へ集合させること。
- (3) 80分前プレマッチミーティングには、選手の他に以下の人員が揃っていないとてはならない。
- ① 主将、② 交替指示者、③ メディカル・サポーター、④ 記録係、⑤ 水係（3名以内）、⑥ ボール係（3名）、⑦ タッチジャッジ、⑧ チーム・ドクター（いるチームのみ）
- (4) 80分前「プレマッチ・ミーティング」の際に、出場選手全員（リザーブ含む）の本人確認とドレスチェック、装用具のチェックを行なう。
- (5) 各チームは、有資格のメディカル・サポーター（認定証持参のこと）をかならず帯同しなければならない。
- (6) 各チームの記録係は、キックオフ15分前までに記録席に着席し、公式試合記録用紙を記入すること。
- (7) 試合は、原則としてスリーボール制で実施する。各チームからボール係を各々3名用意し、自チームの左側に配置すること。
- (8) 試合球（3個）はホームチームの責任で準備すること（両チームで話し合って同一品質のものを用意する）。試合球は、80分前「プレマッチ・ミーティング」の時点で大会本部にて内圧チェックを行い、以後キックオフまで大会本部で預かる。
- (9) 80分前「プレマッチ・ミーティング」に選手が15人揃わないチームは不戦敗とする。

### 6. 競技時、ハーフタイム時の諸注意

- (1) 試合中チーム関係者は所定の場所に着席し、うろろろしないこと。ゲームの進行とともにタッチサイドを移動して応援したり、指示の声を出したりしない。ラグビーはキャプテンシーのスポーツである。
- (2) リザーブ選手は上着、トラックスーツを着用するなど、必ず競技中の選手と見分けがつく服装をすること。
- (3) 出場選手以外のメンバーは、グラウンドに出て練習等に参加しないこと。
- (4) グラウンド内にチームベンチが設けられた場合、ベンチに入れるのは最大16名までとする。  
＝リザーブ選手7、監督・コーチ1、メディカル・サポーター1、水係3、競技（交替指示者含む）3、チームドクター1。
- (5) 本大会のハーフタイムは、決勝戦以外は、5分以内とする。ハーフタイム時の選手（リザーブ選手を含む）